

【2次試験について】

来年度の児童募集において、今回2次募集を実施することにしました。保護者の中には、児童募集活動が難しい学校になっているのではないかと不安感をお持ちの方もいらっしゃるのではないかと思います、この場を借りて説明をさせていただきます。

23年度児童募集活動は、新たに実施した幼児教室向けの説明会や受験を希望する子どもたちが学校での体験活動ができるようにしたオープンスクールなどの効果があり、志願者数も昨年をやや上回りました。試験においても、合格者、補欠者を例年と同様に発表し、補欠繰上げを行いつつ新年度72名でのスタートに向けて準備を進めてきました。しかしながら、12月に入ってから都内の学校で繰り上げが行われたことなどの影響で、予想以上の辞退者がありました。これまでは入学後の編入で欠員を補充していましたが、できるだけ小学校生活のスタートをこの学校で迎えてもらった方がよいとの判断で、今回2次募集を行うことにしました。児童募集活動は今後ますます大変になっていくと思われませんが、それは現実問題としてしっかりと対応しながら、一番大切なことは今在校している子どもたちが生き生きと楽しく学校生活を送れるようにすることであることを教職員一同で再確認する機会にもなりました。

【成長の過程で見られること】

北海道大学・子ども発達臨床研究センターの田中康雄教授が新聞に次のような記事を書いておられました。

《ADHD（注意欠陥・多動性障害）は不注意や多動性、衝動性を主症状とし、患者は注意を集中できず、行動や衝動をコントロールできない。学齢期の子どもの3～7%を占め、最近では成人のADHDにも注目が集まっている。「わがまま」「勝手」「自己中心的」などを周りから批判され続け、生きづらいという気持ちを強く持っており、周囲がほめたり認めたり、傷つきやすさに配慮したりすることが必要である。・・・「何度言ったら分かるの」という注意をはじめ、「しかられる場面」が多くなる。》

子どもの成長の過程では、上にある「わがまま」「勝手」「自己中心的」などの様子は多くの子どもに見られることであり、それが直ちにADHDに結びつくものであるとは全く考えるものではありませんが、その論文の中にある数値には正直なところ驚きました。

子どもの成長とともに、社会性、コミュニケーション力がしだいに身につけていきますが、その間に子ども自身が成長しようという意欲と、保護者や教員からの支援が必要です。集団生活の場である学校で、そういう意味における成長の遅れが見られる子がいる場合、その子自身の問題にとどまらず必ずその周りで生活する子どもたちへの影響も出てきます。こういう面からも学校と家庭がしっかりと向き合い、本音で話し合いながら子どもたち一人ひとりを支えていくことが求められると考えます。

【自分で考え行動する場面】

先日、マラソン大会、音楽集会、もちつき会と続けて取材に来た小学校受験新聞（インターネットで学校紹介をしている）の方が、朝8時20分のチャイムが鳴る前に、ほとんどの児童が朝の遊びや活動を切りあげて教室に戻っていく様子を見て驚いていました。そして「どうしてチャイムが鳴らないのに子どもたちは教室に戻るのですか？」と質問されました。そのとき私は「8時20分には朝の会が始まるので、その前に教員たちは皆教室で子どもたちを待っているからです。」と答えました。このようなことは開校当初からできていたことではありませんでした。以前は教員が「時間になったから教室に戻りましょう」と声をかけなければならないときがありました。そんなときに子どもたちに目標として示すことが「時間を守りましょう」などでした。しかし、考えてみれば始業のチャイムが鳴るときに教員はどこにいるのか。実を言うと教室でなく職員室にいたことが多かったのです。今思えば恥ずかしいことですが、何度も「時間を守りなさい」と声をかけるよりも、教員が教室で子どもを待つことの方が何倍も効果があったのでした。これは一例ですが、実は工夫しただけは無用な声かけをなくし、子どもたちが自分で考え行動する場面を作っていくことがたくさんあるのだらうと考えます。

【特別授業についてのお知らせ】

2月21日（月）13:30～14:30 聖路加国際病院理事長 日野原重明先生による「いのちの授業」（特別授業）をしていただくことになりました。日野原先生は大変著名な方ですので保護者の皆さんもご存知のことと思います。現在99歳になられていらっしゃいますが、そのお仕事の一つに子どもたちに命の大切さを伝える活動をされていらっしゃいます。私が特別授業のお願いのお手紙を差し上げたところ、まさかと思いましたが、快く6年生が卒業する前にということでスケジュールを調整していただくことができました。当日は、4年生以上の児童は全員参加することとしますが、保護者の皆様も参加可能です。（保護者の学年は問いません）参加を希望される方は、メールでお知らせください。メールには、お子さんの学年・組・参加される人数を必ずお書きください。なお、保護者の参加申込み締め切りは1月末日とさせていただきます。申込みをされた方には事前に受講券をお渡しいたしますので受付で係の教員にお渡しください。その場合名札の必要はありません。